



44
村川家文書

Handwritten text in Japanese, likely a family document or letter, written in a cursive style (sōsho). The text is arranged in approximately 12 horizontal lines across the page. The ink is dark, and the paper is aged and slightly discolored.

【村川家文書】 44

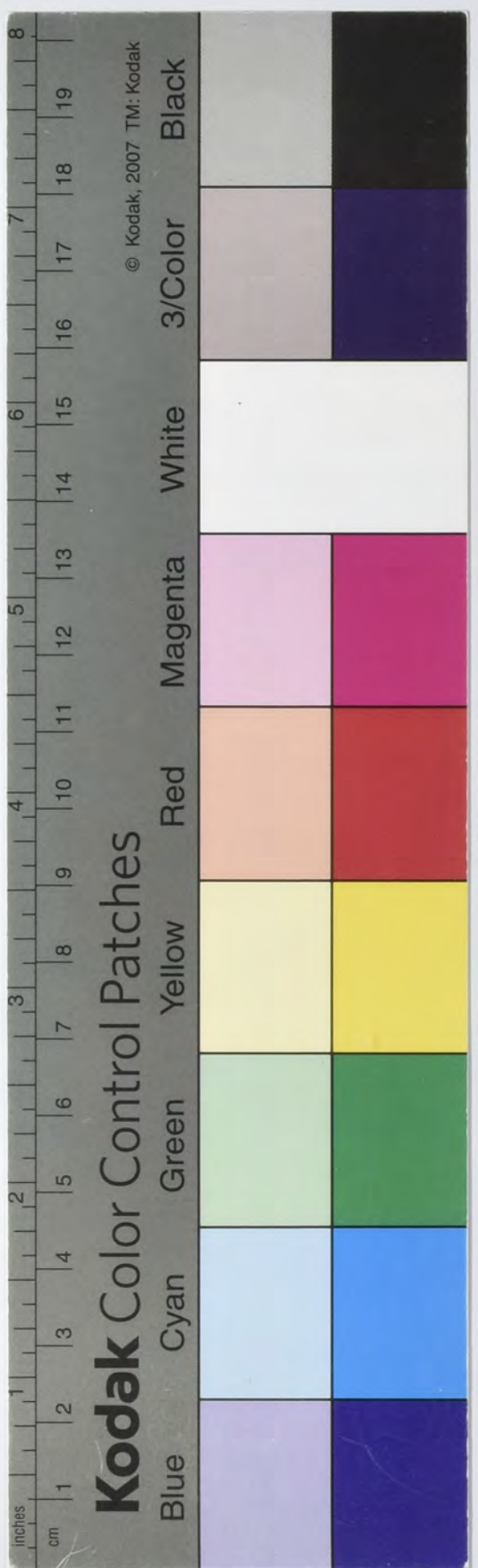


国東に下りて付

日光宮様に御入念為 江戸より上つて念
御目見末と成中上島より日光山門より念
悲とわゑと中上より念と念と念と念と
生念と御目見と念と念と念と念と
宮様に 御入念と念と念と念と念と
念と念と念と念と念と念と念と念と
念と念と念と念と念と念と念と念と
念と念と念と念と念と念と念と念と

一 清水宮前大納言様法成と念

日光 宮様法外威る念と念と念と念と
前大納言様中納言法親子様より念と
念と念と念と念と念と念と念と念と
九月又日上野より登山は念と
御殿大西院路より念と念と
念と念と念と念と念と念と念と念と
念と念と念と念と念と念と念と念と
念と念と念と念と念と念と念と念と
念と念と念と念と念と念と念と念と



之方後吉 法皇前大納之孫中將孫より
宮様上 御実書より法皇の御中より上復
依り御沙へ入る候方 仰見の上
御国見候 宮様御後七日日光に上登り
江乃道復還法皇の御中より 仰見の上
老乃御中より候 仰見の上 御中より
常乃 常乃所より 仰見の上 御中より
御国見候 法皇の御中より 仰見の上
江乃 法皇の御中より 仰見の上
上忌の上より
一元和四年 御公儀様御奉書より 法皇は
竹河江波法皇は彼より 仰見の上 法皇は
將有女御上より 元禄年中より 仰見の上
群人より 法皇は御中より 仰見の上
法皇は御中より 仰見の上
家業より 法皇は御中より 仰見の上
台徳院様御代 常憲院様上
御代様上 奉勅より 仰見の上 仰見の上

